

研修報告書 No.23

研修先： 渭南病院

私は高知県土佐清水市にあります渭南病院で 1 ヶ月間地域医療研修をさせていただきましたのでご報告致します。

まずはじめに土佐清水市は四国の西部南端に位置し、直結する高速道路や鉄道がなく、最寄りの駅までは車で 40 分ほどかかり、日本の市の中で、東京からの移動時間を最も要する場所と言われています。県庁所在地の高知市内からも車で 2 時間半、電車やバスなどの公共交通機関では 3 時間程かかります。人口は約 1 万 2 千人、高齢化率は 50.5%と、約半数が 65 歳以上で、高知県内で高齢化率が最も高い市といった状況です。緊急で手術が必要な場合などは近隣の病院へ 1 時間弱かけて救急車で搬送する必要があります。救急搬送へ付き添う機会がありましたが、搬送するだけでも距離があつて大変であると感じました。

渭南病院での一般外来研修では、自分が研修している病院では、あまり経験の無かった症例、創傷の処置、経過や治療終了まで診る事が出来て、非常に勉強になりました。

基幹病院の病棟研修では、急性期を過ぎるとリハビリ目的に転院となっていました。渭南病院は、在宅、施設移行までの病床を備えているため、急性期を脱したから転院ということではなく、施設、在宅復帰に向けてのリハビリや自宅環境準備など、患者さんをより長期的にフォローすることが可能でした。施設や在宅に戻られても、往診で診察する機会もあり、退院後の経過もフォローすることができました。

また、退院に向けての退院支援カンファレンスにも参加させていただきました。そこでは、様々な職種の方々に加えて、ご家族も交えて各方面から退院後に向けての必要な準備、退院後の食事指導や体位交換の仕方、他にどのような支援が必要になるかなどについて細かく議論されていました。それによって、退院後もご自宅で、ご家族が安心して患者さんを介護していけるよう取り組んでいることを学ぶことができました。

施設や患者さんのご自宅への訪問診療にも同行させていただきましたが、各ご自宅とも離れた場所に位置している場合もあり、何軒も連続で診療に向かうのは時間的にもなかなか厳しいといった現状でした。しかし、訪問診療を必要としている方々は、通院が困難である事を考えますと、地域医療における訪問診療の重要性を再認識させられました。訪問診療を受けている患者さんは、訪問看護や訪問介護、訪問栄養、訪問歯科といった様々な医療も受けられていて、訪問診療の際には、医師がそれらの各方面の方々と連携して患者さんを診察できるような体制がとられている事を実感しました。

今回、地域医療研修をさせていただき、医療従事者だけでなく、多くの職種や行政の方々などが関わって、地域医療が成り立っている事やその現状について勉強することができま

した。また、四国を訪れたのは初めてでしたので、高知県内外の様々な場所を訪問し、高知県の土地柄や食文化を知ることができたことも貴重な経験となり、非常に有意義な 1 ヶ月間となりました。

渭南病院のスタッフの皆様、高知医療再生機構の皆様、今回の研修に際して様々ご配慮をいただき、このような貴重な経験をさせていただきましたことを心より感謝申し上げます。